

大相撲名古屋場所の救護活動

～平成17年から平成21年の調査報告～

米田病院 柔道整復師 : 羽生 優

米田病院 医師 : 米田 實



はじめに

当院では毎年大相撲名古屋場所に職員の柔道整復師
2名を派遣し、応急手当や医療機関への搬送支援など
を中心とした救護支援活動を行っている



柔道整復師の業務

柔道整復師の業務範囲

骨折、脱臼、打撲、捻挫の患部に施術をできるが、医師の同意を得た場合のほか、脱臼又は骨折の患部に施術をしてはならない。ただし、応急手当をする場合には、この限りではない。

(柔道整復師法第17条)



大相撲名古屋場所応急対応の人的資源

毎年派遣を継続(平成2年からは常に2名)

当院

- ・柔道整復師2名
- ・応急手当や医療機関搬送の支援
- ・場所：控え室内の一角にカーテンで仕切った一室
- ・待機時間：8時30分～18時30分（初日から千秋楽まで毎日）

某名古屋場所後援新聞社直営病院

- ・看護師2名
- ・創傷などの応急処置、内科的対応
- ・場所：控え室出入口付近の一室（警備員待機室と兼用）
- ・待機時間：1日3～4時間（不定期）



調査対象

調査期間

平成17年から平成21年までの5年間(名古屋場所のみ)
初日から千秋楽までの合計75日間

調査対象

人数：来室した力士延べ1665人

柔道整復師の施術対象となった力士延べ1381人

複数の来室を含まない人数(実人数)は643人であった



調査内容

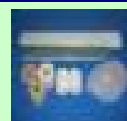
①人数の推移について

・来室者の内訳



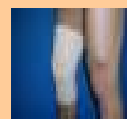
②施術内容について

・施術の種類



③傷害部位について

・頻度の高い傷害部位

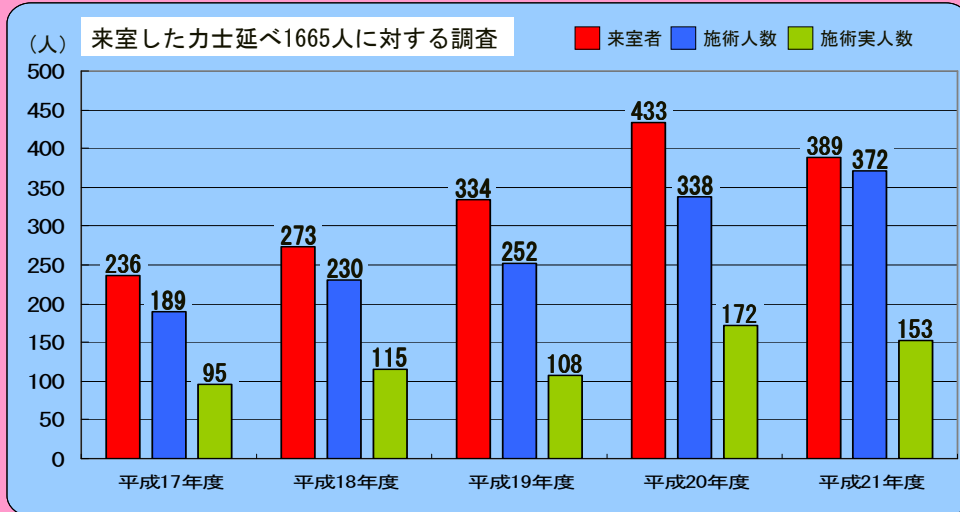


④平成21年度の傾向について

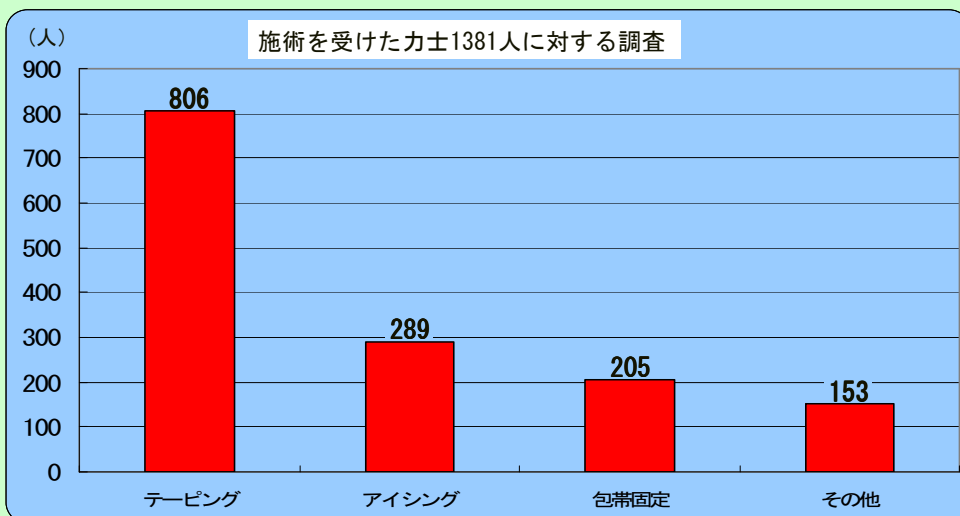
・施術内容の特徴



結果：人数の推移



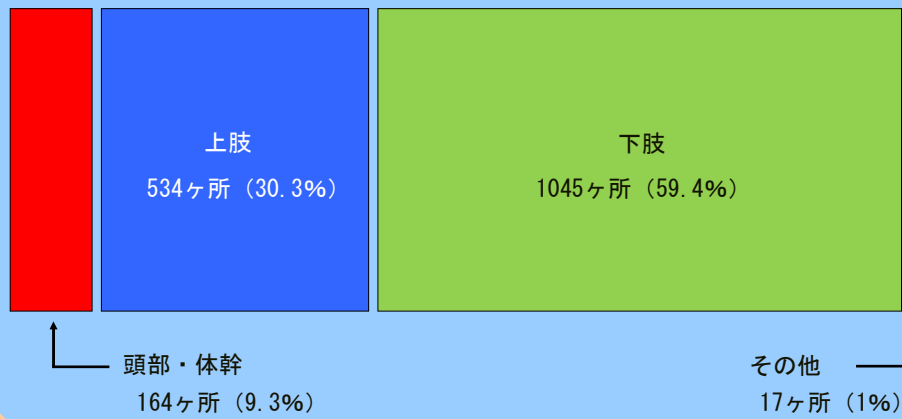
結果：施術内容



その他にはシーネ固定、松葉杖の貸出、三角巾固定などが含まれている

結果：傷害部位（新鮮例と陳旧例が混在）

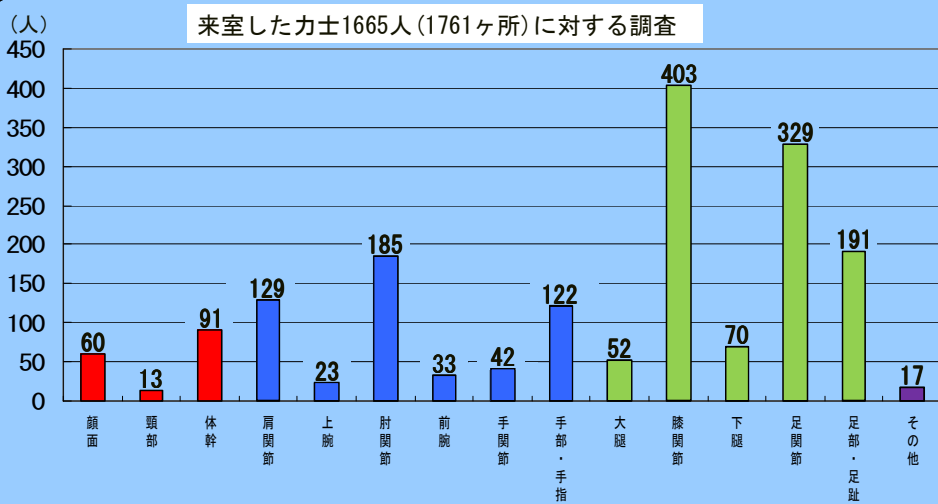
来室した1665人（1761ヶ所）に対する調査



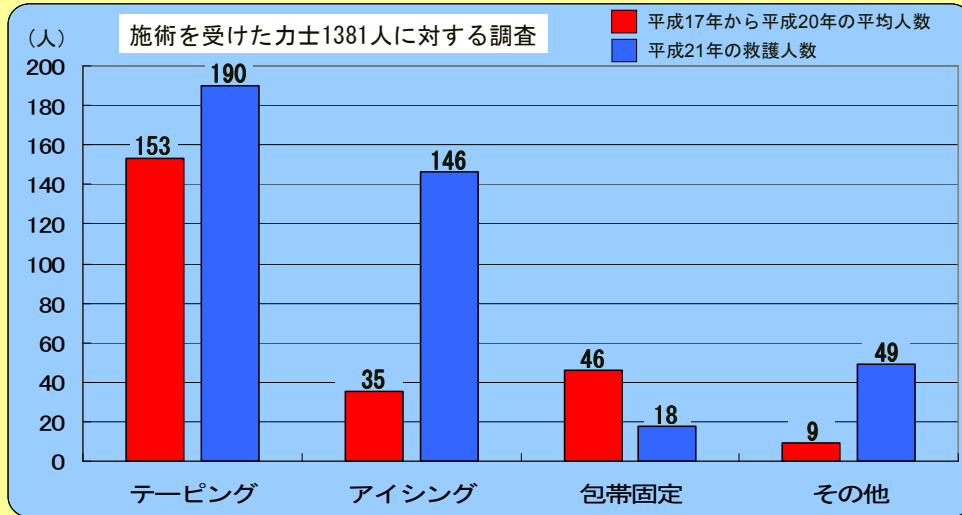
結果：傷害部位（新鮮例と陳旧例が混在）

各部位の詳細


来室した力士1665人（1761ヶ所）に対する調査



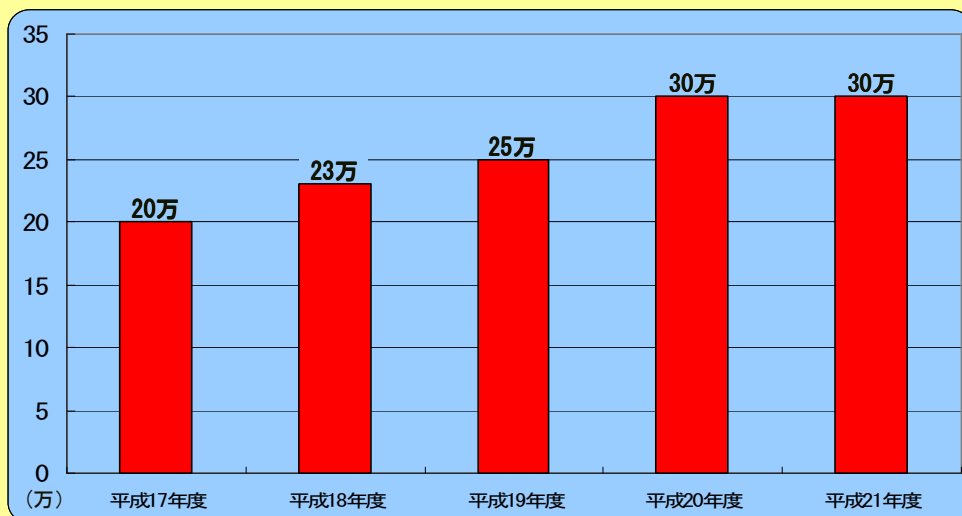
結果：平成21年度の傾向




例年に比べアイシングが急増

米田病院 

一場所（15日間）の救護材料費について



今年度から材料費は全額、日本相撲協会名古屋場所の負担となった

米田病院 

まとめ

- ◆大相撲名古屋場所での救護活動について報告した
- ◆施術を受ける力士の人数は年々増加傾向がみられた
- ◆施術内容ではテーピングが最も多く、次いでアイシング、
包帯固定の順に多い結果となった
- ◆傷害部位では膝関節部が最も多く、次いで足関節部、と
下肢に多い傾向がみられた